



△田辺ソフト部

部員はみんな個性豊かで元気が、規律を大事にすることが田辺高校ラグビー部の伝統で、普段から声を掛け合っている。あいつや荷物の置き方などに気を配っている。自主的に動くことや人が嫌がることでも率先してやることを心掛けていた。それは試合でも同じで「やらされるラグビー」ではなく、「自分たちが動くラグビー」を目指している。

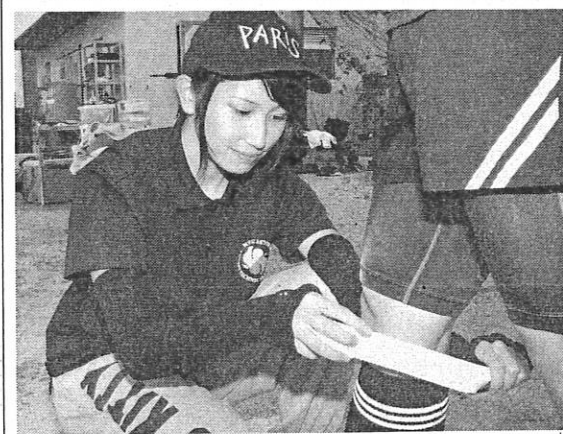
勉強をおろそかにしないことが決まりとなっていて、テスト期間中はみんなで時間を決めて集中して勉強するなど、部活外でも団結している。

「雰囲気×フィジカル×強いメンタル」という方程式を掲げていて、人数が少ない分、雰囲気盛りに上げて他のチームに負けないようにという思いが込められている。体づくりのために私たちが練習中にバスタなどの炭水化物をゆで、練習が終わった30分以内のゴールデンタイムにプロテインと一緒に食べてもらう。

一言 全力でサポートするので、チーム一丸



選手にドリンクを渡す(左から)小山樹那さん、大西一葉さん、當仲紗季さん



選手の手当てをする三宅里奈さん

メンバーは素直で感情豊か。負けたときは感情を表に出して泣いたり、イライラしたりするけれど、そのときはムードメーカーの3年生がフォローしてくれる。思ったことをすべ口にするからけんかすることもあられるけれど、その日のうちに仲直り。メンバー一人一人が面白く、プレーにも個性が出るのでマネジャーをしていて本当に楽しい。

合宿を重ねるの持ち場に、どう動けばいいかを覚えて、迷いがなくなってきた。他のチームとの合同練習では「あのくらい鍛えたいな」「あの技術すごいな」と、刺激になることが多い。あんなりたいと技術を磨いたり、体を鍛えたりしてモチベーションに

23日に一回戦で和歌山北と対戦する。

【昨秋以降の結果】
全国大会県予選1回戦▽県新人大会1回戦▽県春季選手権1回戦

▽3年 久保勝太郎、木田勝大、後藤一、熊野敦也▽2年 大西一葉、當我部貴大、森脇将斗▽1年 西原将、生賀智也、田中雄平、田植陸人、垣内賢人、松下涼、那須輝

私たちがチームを導く

マネジャーがチーム紹介

田辺



熊野ラグビー部

一言 最後まで諦めず、1人のチームメイトとして一緒に戦う。自信を持

組んで心が通じ合うようになって、自分たちの試合をしてきた。特に3年生には最上級の生の自覚や責任感が出てきた。3人の先生も指導に熱がこもっている。

春の大会が終わった後、メ

小山晋大朗、坂本拓真、西出庸、輪玉一樹、玉置将也、前田新太、谷本龍哉、岡本真人、松本海斗、谷口遼馬、鍋倉海斗▽2年 正司律城、橋園竜弥、木下直政、五味良幸、山下智也▽1年 垣本拓海、清水幸太、濱口龍世、雨積慎一、柳谷来依、吉澤颯太、楠本唯陽、坂本亮明、松田翼、鳥羽弘人、矢野幹大▽女子部員 濱田(2年)、山下明子(1年)▽マネジャー 谷地未悠、中田純香(以上、3年)、阪本絵美子、植本明日香(以上、2年)

【昨秋以降の結果】
全国大会県予選1回戦▽県新人大会1回戦▽県春季選手権1回戦

▽30日に準々決勝で那賀有田中央の勝者と対戦する。

花園への道

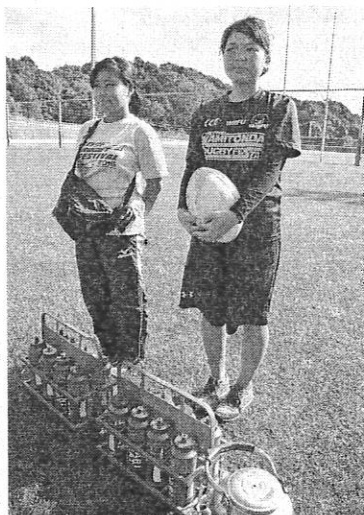
全国高校ラグビー大会県予選

全国高校ラグビー大会県予選が23日から、紀三井寺陸上競技場で始まる。田辺・西牟婁から出場する3校のマネジャーがチームを紹介する。

熊野

明るくて真面目な部員が多く、オンとオフの切り替えができる。「花園での勝利」という目標に向かってチームが一つになっている。

夏を越えてチームは大きく変わった。これまで練習であまり出ていなかった声が出るようになり、練習前は陣を



練習中の選手を見守る中田純香さん(左)と谷地未悠さん

田辺工業



田辺工業ラグビー部

ついている。練習メニューもハードに変わってきた。

チームが一つになって、勝つことも負けても全力プレーを目指す。

一言 全力で支えて、ちゃんと見守っているので、全力でプレーしてほしい！

三宅里奈さん(2年)

【昨秋以降の結果】
全国大会県予選1回戦▽県新人大会1回戦▽県春季選手権1回戦